

Tajimi H.S. Library News 12月号

2024.12.6 図書委員会発行

今年度の連載テーマ

わたしの部活動 紹介します

～部活動と本の紹介～

部活動「総合文化部(書道)」

書道部では日々自身の成長や美しい字を書くため部員同士で教えあいながら練習を行っています。

<本の紹介>

『書道入門』 座右宝刊行会／編 小峰書店

この本は、中国の書体から日本の書体まで漢字とひらがなのいろいろな種類の書体が載っていて、多くの人知っている行書や楷書の他にもたくさんのものがあることを知ることができます。

また、歴史の流れで中国と日本の漢字、ひらがなの書体などがだんだんと変わっていったことがわかって、どのようにして中国から日本に漢字が伝わったのかや宗教とのつながり、昔の作品など歴史の勉強にもなります。

筆の大きさや何の毛でできているのかなどの筆の種類についてや、半紙の種類、すずりや墨の出来方、墨のすり方、墨の色の違いなど書道のこともたくさん知ることができます。

なので、書道のことや漢字やかなの歴史について少しでも興味がある人は、ぜひこの本を読んでみてください。(担当:1D)

著作権法上
書影削除

部活動「弓道部」

弓道部では、部活の雰囲気よく、それぞれの目標にむけて日々練習しています。

<本の紹介>

『1%の努力』 ひろゆき/著 ダイヤモンド社

宿題が出たときに、すぐに終わらせるのか、計画的にコツコツやるのか、最終日にイッキにやるのか。そんなところから、自分がどんな「ポジション」にいるのが良くて、自分の向き不向きがハッキリしてくる。

この本は性格を変えることは諦めて、それをどう生かしていくのがよいか、少し前向きに教えてくれると思う。(担当:1F)

著作権法上
書影削除

部活動「ハンドボール」

ハンドボール部では、秋の大会に向けてみんなが集中して練習しています。

<本の紹介>

『はたらく細胞』 清水茜/著 講談社

この本は、多種多様な細胞や人体の仕組みについて解説しているマンガ本です。

「細胞」ということで、『難しそう。』『面白くなさそうなどと言う方もいると思いますが、興味がない人でも楽しく読めると思います。また、文もわかりやすく専門的な用語も含まれているので、生物を選択した方にお勧めの一冊です。

著作権法上
書影削除

(担当:2E)

押し本リレー

紹介者:清水香織先生(国語)

8月の1ヶ月間、企業研修で「TSUTAYA ブックストア」様にお世話になりました。その際、自分のコーナーを企画運営することになり、テーマを「平安時代の文学」にしました。そのコーナーの中心に据えたのが、以下の本です。

『いとエモし。: 超訳日本の美しい文学』
koto/著 サンクチュアリ出版

著作権法
上
書影削除

日本の古典をJ-POPの歌詞のように訳した文章と、イラストから構成されている本です。

「いとエモし。」はどの文章の訳か分かりますか。そうです、『枕草子』の「いとをかし」です。筆者は「エモい」を「心がゆさぶられ、なんとも言えない気持ちになること」と説明しています。そして、この本では「エモさ爆発」「エモ!エモ!エモいわ!」などと、「エモ訳」がなされていて、なかなかユーモアがある意識となっています。松尾芭蕉の『笈日記』の「旅に病で夢は枯野をかけ廻る」は「ずーっと旅ばっかしてきてよ…」から始まっています。

古文は古文そのまま味わってほしいという気持ちもあります。でも、古典を学ぶ意味の一つに、現代人と変わらない心情を理解するということがあるとすれば、「エモ訳」で古人の感じた喜怒哀楽を味わうのもよいのではないかと思います。古文が苦手な人ほど、読んでもらいたい本です。